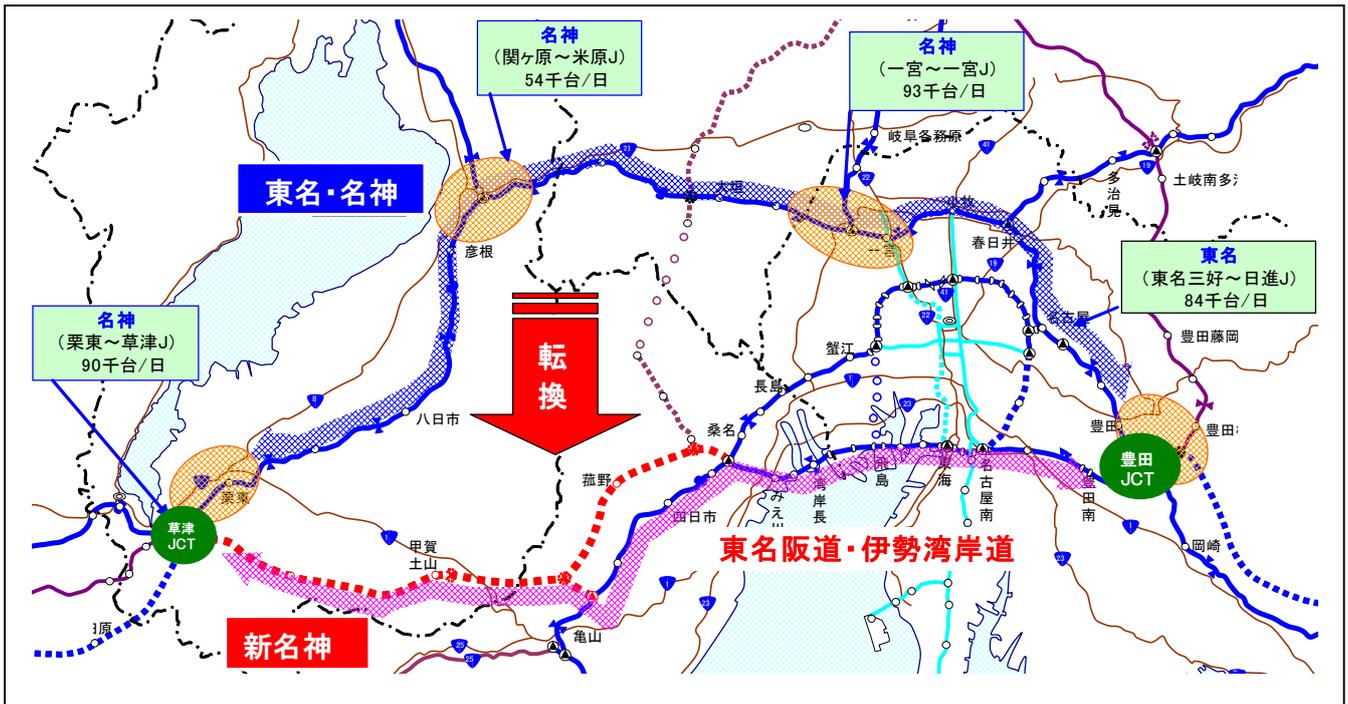


② 東名・名神 豊田 JCT～草津 JCT 間の交通渋滞が緩和されます。

東名・名神の豊田 JCT～草津 JCT 間において、年間約 1,600 回、延べ 3,500 時間（平成18年実績）の渋滞が発生しています。

新名神の開通により、現在、東名・名神を利用している交通のうち、豊田 JCT と草津 JCT の外側に起終点をもつ交通、約 10 千台/日の多くが、走行距離・走行時間の短縮から、新名神に転換すると考えられ、名神の渋滞が緩和されます。



渋滞箇所



一宮 JCT 付近の渋滞状況

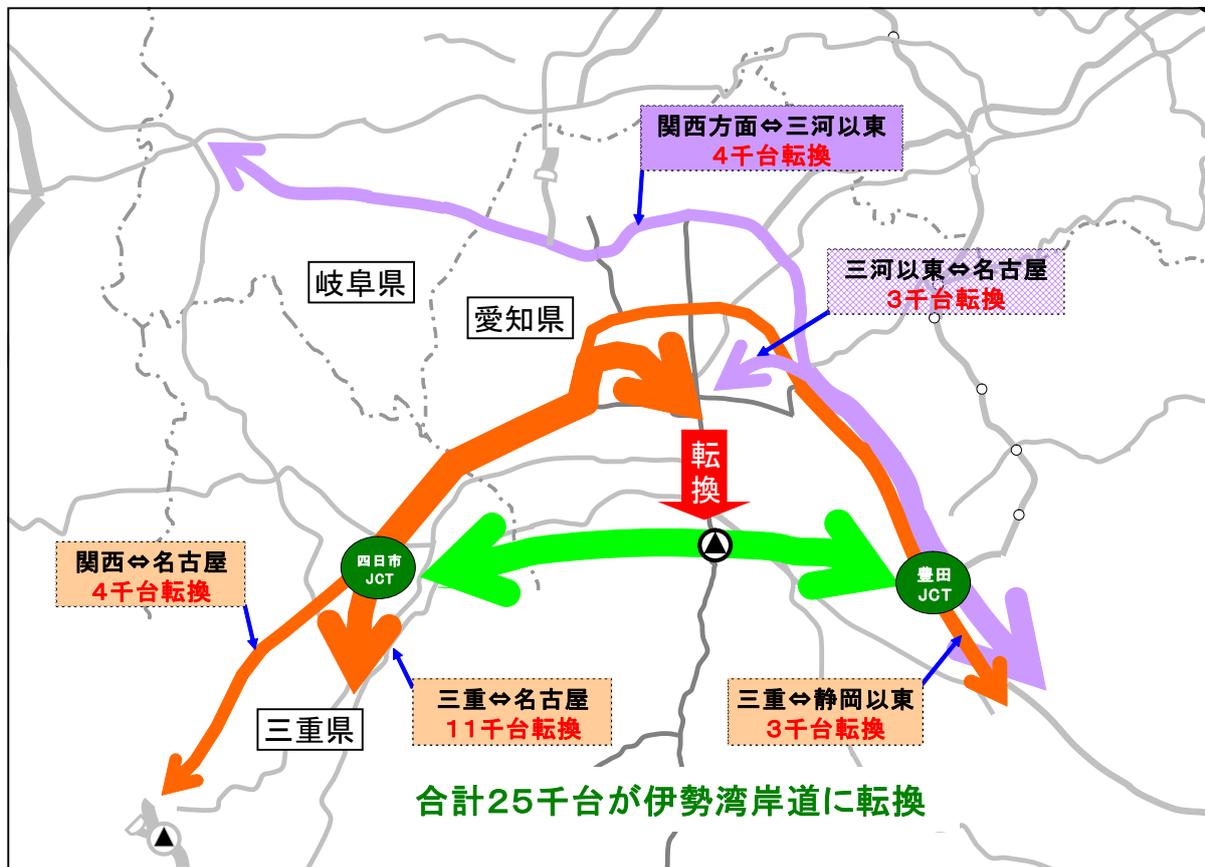
東名・名神 草津JCT～豊田JCT間の渋滞 (代表箇所のみ合計)			
上り線	893回	1,858時間	
下り線	694回	1,600時間	
計	1,587回	3,458時間	

(自然渋滞や事故及び集中工事に伴う渋滞を含む)

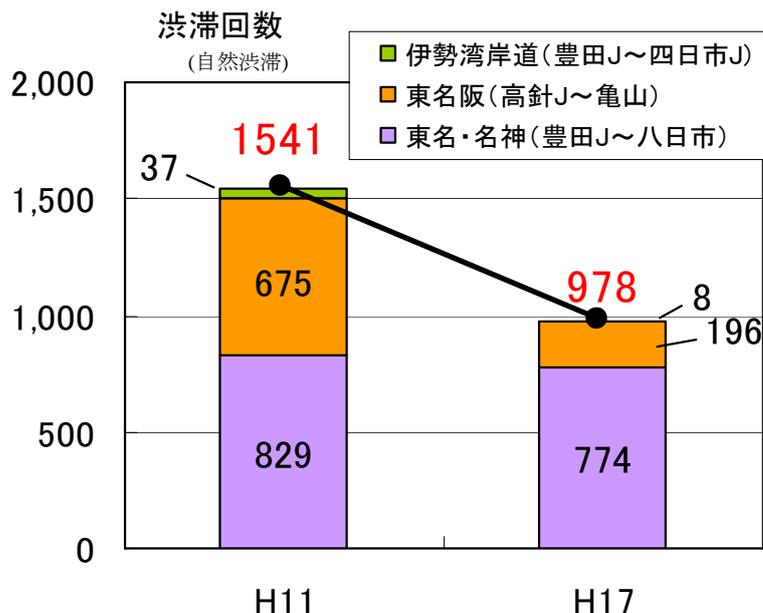
出典：NEXCO 中日本、NEXCO 西日本

高速ネットワークの完成に伴う渋滞緩和の事例

平成 17 年度に全線開通した伊勢湾岸道では、東名阪道、東名・名神から伊勢湾岸道へ約 25千台/日の交通転換が図られ、周辺高速道路の渋滞件数が減少しました。



出典：H11 及び H17 道路交通センサス



※東名 豊田 JCT 以東では、伊勢湾岸道全通による利便性向上により、一般道からの交通の転換等により、渋滞回数が増加している区間があります。

出典：NEXCO 中日本

(参考)

新名神開通に関連する渋滞対策として付加車線事業等を実施します

新名神の開通に伴い、交通が集中すると予想される東名阪道及び名神(瀬田東JCT付近)では、現在、渋滞対策として付加車線事業を実施中で、2008年度内の完成を予定しています。



名神 瀬田東JCT・付加車線事業



東名阪道・付加車線事業

①東名阪道 付加車線事業

新名神の開通に伴い、交通の集中する東名阪道では、四日市東IC付近(上下)、御在所SA付近(上下)、四日市IC付近(上下)、亀山JCT付近(上)において現在、付加車線事業を実施中です。

②名神 瀬田東JCT・付加車線事業

今回開通する新名神と名神及び京滋BPの交通が集中する草津JCT～瀬田東JCT間において、交通の錯綜と集中による渋滞及び交通安全対策として、現在、付加車線事業を実施中です。

③四日市JCT～亀山西JCT 新設事業

東名阪道で予想される渋滞の抜本的対策として新設事業を鋭意実施中です。

④大津JCT～城陽IC

当区間及び八幡IC～高槻JCTについては、第2回国土開発幹線自動車道建設会議において、「主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断することとし、それまでは着工しない。」とされています。

(仮称:亀山西JCT、大津JCT、城陽IC、八幡IC、高槻JCT)